

# 新しいエネルギー計画に 市民の意思を！



子どもを愛し、家族を愛し、仲間を愛し、友を愛し、ふるさとを愛し、自然を愛し、平和を愛し、仕事を愛し、未来を愛す。  
何より強い愛の力に、私たちの意志の力を加えよう！

若し原子力より大きい力を持つものがあるとすれば、それは愛だ。愛の力以外にはない (井上 靖)

かつてアインシュタインは蒸気より、電気より、原子力よりも人を動かすことができるものがあると語った。それは人間の意志だ。意志さえあれば、どんなことでも達成できる (ジョゼ・モウリーニョ)

## 脱原発の声を無視した現在のエネルギー計画

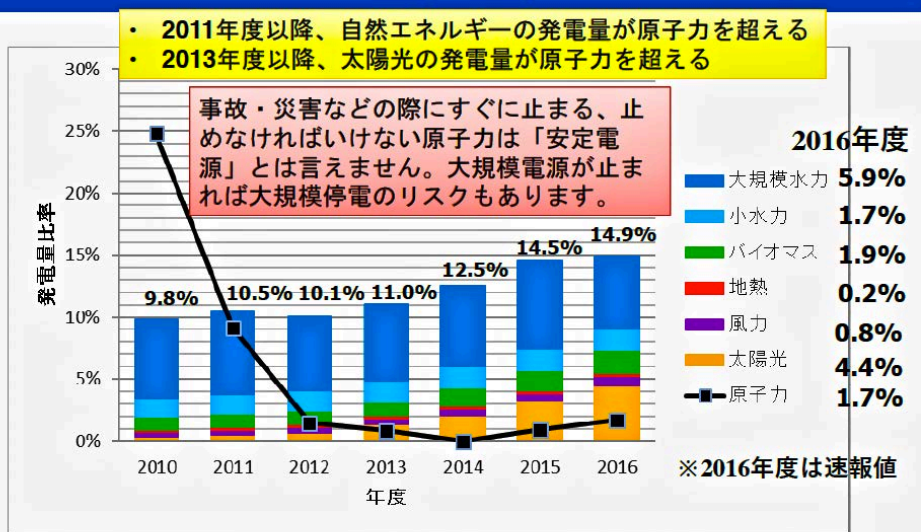
国のエネルギー基本計画は3年毎に見直され、今年が新しい計画を立てる年だ。2012年には東電福島第一原発の事故から学び、国民も参加して2ヶ月に及ぶ議論を経て、脱原発の方針によるエネルギー計画が作成されようとしていた。しかし政権交替で登場した安倍政権(自民・公明)は選挙公約も投げ捨てて、2014年に原発をベースロード電源とするエネルギー計画を立て、2030年の原発依存率22%を目標と設定した。

## 時代の変化に合せた脱原発の新しいエネルギー計画を

地球環境への取組みが進み、省エネ・節電が進んでいる。自然エネルギーが実績を増やしている。世界中の人々が原発は安全で安くて安定しているというウソにだまされない知識と情報を手に入れている。原発がなくても電気がまかなえることが実証されている。市民がエネルギーを作り売り買うことができるようになってきている。新しいエネルギー計画を市民参加で作ることが出来る。

原発ゼロの会大阪

## 日本国内の自然エネルギー(発電量)と原発の比率の推移



isep 環境エネルギー政策研究所

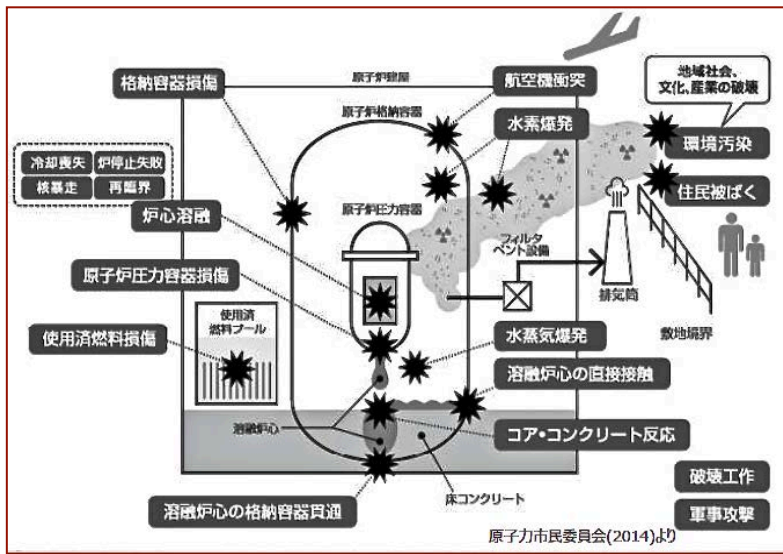
出所:資源エネルギー庁、ISEP調査

# 新しいエネルギー計画に 市民の意思を！



政府は新エネルギー基本計画策定の話合いが始まるより早く、内閣府原子力委員会の「原子力発電所の再稼働及び安定的な利用に取り組むことが必要」とする「原子力利用に関する基本的考え方」の決定（7月20日）を受けて、これを「尊重する」と閣議決定（21日）した。再稼働反対、原発ゼロを求める国民世論を無視するアベ政治をこれ以上続けさせては行けない。

## 原発苛酷事故の可能性



## トイレのないマンション

10 万年以上にわたって強い放射線を放つ使用済み核燃料が既に 1 万 8 千トン以上貯まっている。プルトニウムも 48 トン保有している。どのようにどこに処分するのか、まったく見通しもない。

電力会社 貯蔵量 貯蔵可能量 たまり具合

電力会社	貯蔵量	貯蔵可能量	たまり具合
北海道	泊 400 <sup>t</sup> ウラン	1020 <sup>t</sup> ウラン	39%
東北	女川 420	790	53
	東通 100	440	23
東京	福島第一 2130	2260	94
	福島第二 1120	1360	82
	柏崎刈羽 2370	2910	81
中部	浜岡 1130	1300	87
北陸	志賀 150	690	22
関西	美浜 470	760	62
	高浜 1220	1730	71
	大飯 1420	2020	70
中国	島根 460	680	68
四国	伊方 640	1020	63
九州	玄海 900	1130	80
	川内 890	1290	69
日本原子力発電	敦賀 630	920	68
	東海第二 370	440	84

16年6月末現在

2016年10月19日付朝日新聞

## 定められた安全目標

- \* 炉心損傷事故の目標 ⇨ 1 万年炉に一回  
世界で 23 年に 1 度 日本で 200 年に一度の事故発生
- \* 原発周辺の住民が避難する前に大量の放射性物質が放出される事故 ⇨ 10 万年炉に一回  
世界で 230 年に一度 日本で 2000 年に一度の事故発生

## 実際の事故は目標をはるかに超える頻度で起きている

福島第一原発の事故を 3 事故とすると ⇨ 国内で 10 年に一度の事故発生確率となる  
これに、スリーマイルとチェルノブイリを加えると  
⇨ 世界では 7 年に一度、日本では 57 年に一度の事故発生確率となる

**原発は安全ではない、事故が起きれば取り返しのつかない状態を生み出す。危険な原発の再稼働はすぐ止めて、廃炉へ政策転換しなければならない。**

(上の数字は、世界の原発 430 基、日本の原発 50 基として、1 基の原発が 1 年稼働したものを年炉としている)  
原発ゼロの会大阪

連絡先 大阪府中央区内本町 2-1-19-370 (大阪から公害をなくす会気付 山本)